

## センターからのお知らせ

### AIDS 文化フォーラム in 横浜に参加しました

「第28回 AIDS 文化フォーラム in 横浜」が8月6日(金)から8日(日)に開催されました。「ともに生きる つながりの参加者になる」というテーマのもと、全国から3,039人もの人たちがオンライン配信を視聴してくださいました。

当センターでは8月6日「ブームでおわらせない 性教育の本を書きました!」と題したオンラインセミナーを開催しました。講師は『あっ! そうなんだ! からだとこころ』の著者のお二人をお迎えし、当日は127人と多くの視聴者に恵まれました。「親と子が性の話をするのできる関係づくりが大切だと知った。」「子どもたちにどのように語るのか具体的な説明がよかった。」「自分の体を知り大切にすることが性教育の第1歩だと知った。」という感想がありました。



出版: エイデル研究所

### 『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』について

この本は、2009年にユネスコ(国連教育科学文化機関)、WHO(世界保健機関)、ユニセフ(国連児童基金)等により作成され、2018年には国連女性機関(UNWOMEN)も加わり改訂されました。

科学的根拠に基づく包括的セクシュアリティ教育のプログラムや教材を開発し、実践することを手助けするためのガイドブックです。8つのキーコンセプトから成り立っていて、キーコンセプト8「性と生殖に関する健康」のなかでは、①妊娠、避妊 ②HIVとAIDSのスティグマ、治療、ケア、サポート ③HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減が取り上げられています。



出版: 明石書店

### 「おーぷん」はここで読めます

ニュースレター「おーぷん」は、横浜市内18区の図書館、福祉保健センターや市民活動支援センターに配架を依頼しています。さらに横浜市内の小学校・中学校・高等学校・大学などにも届けています。

「おーぷん」バックナンバーは当センターのHPで読むこともできます。

QRコードはこちら



横浜市栄図書館

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



発行: 横浜 AIDS 市民活動センター  
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。  
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地  
尾上町ビル9F / TEL: 045-650-5421 FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaaic.gr.jp  
平日: 13:00~20:00 / 土・祝: 10:00~17:00  
休館: 日/火  
監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

## 特集 SDGs と HIV・エイズ (AIDS)

### 世界エイズデー in Yokohama 2021 開催

横浜 AIDS 市民活動センターでは「世界エイズデー in Yokohama 2021」を11月10日(水)から15日(月)まで横浜市役所・展示スペースBにて行います。「知ってる? エイズのこと。」と題し、当センターのマスコット・コムちゃん「エイズ」を身近な問題として関心を持ってもらえるよう啓発ポスターに登場します。期間中はポスター展示やHIV・エイズのパンフレットの配架を行います。



#### アクセス



電車で…… ●みなとみらい線「馬車道駅」1c出口 直結  
●JR「桜木町駅」新南口(市役所口) 徒歩3分  
●地下鉄「桜木町駅」徒歩3分  
お車で…… 地下駐車場(自動車:181台、バイク:56台)

※みなとみらい方面からは「市役所」交差点をUターンして駐車場へ進入することはできません。手前の「日本丸」交差点で右折してお越しください。

2021年世界エイズデーの国内キャンペーンテーマは「レッドリボン30周年 ~Think Together Again~」



日程: 2021年11月10日(水) ~ 15日(月)  
9:00~20:00  
(10日: 12:00より・15日: 17:00まで)

会場: 横浜市役所1階 展示スペースB  
主催: 横浜 AIDS 市民活動センター  
共催: 横浜市健康福祉局健康安全課

# 特集 SDGs と HIV・エイズ (AIDS)

## SDGs

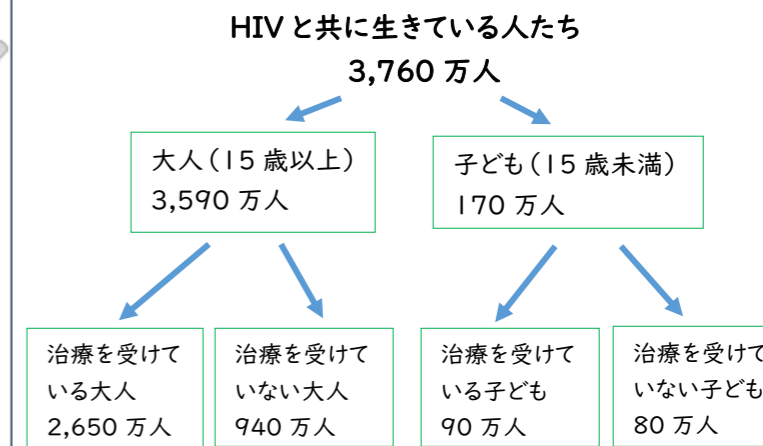
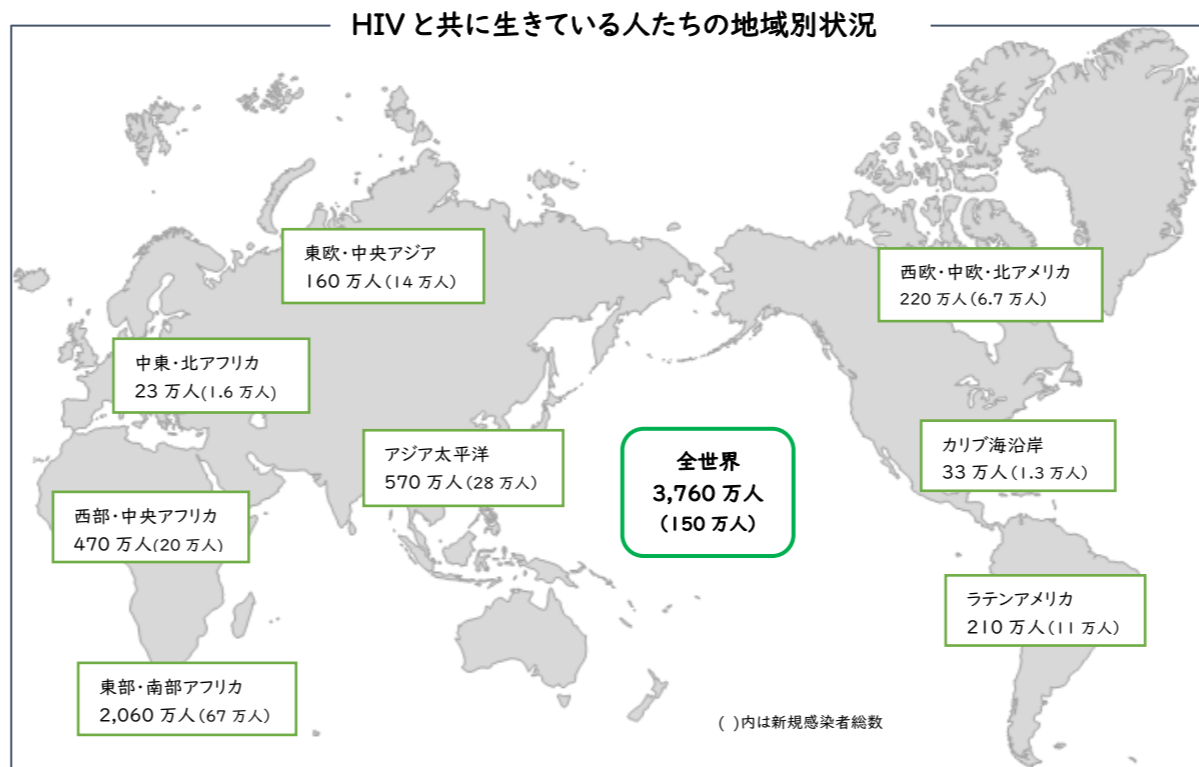
Sustainable Development Goals

### 持続可能な開発目標

SDGs (持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで、加盟国の全会一致で採択され、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

エイズについては目標3に表記があります。



2020年末現在、抗 HIV 治療を受けている人は 10 年前の 780 万人から 2,740 万人に増えました。治療を受けている人は大人は 74%、子どもは 53% にとどまっています。

子どもをはじめとして、すべての人たちが、平等に医療を受けられることが必要です。

女性: 毎週、およそ 5,000 人の若い女性 (15~24 歳) が HIV に感染しています。全世界で 3 分 1 以上 (35%) の女性が、生涯に親しいパートナーから肉体的・性的暴力、またはパートナー以外から性的暴力を受けています。

地域: 新規感染者のうち、女性と少女が占める割合は 50% でしたが、サハラ以南のアフリカではその割合は 63% です。

参照: UNAIDS ファクトシート 2021 2020 年世界にエイズの状況

### 目標3 すべての人に健康と福祉を

目標 3 を達成するために、世界が取り組むと約束したことは? (一部抜粋)

- ◆ 出産時に亡くなってしまう妊婦の数を減らす
- ◆ 新生児や 5 歳未満児が予防可能な死亡をすることがないようにする
- ◆ エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病の流行を止める
- ◆ 世界の道路交通事故による死傷者を半減させる
- ◆ 薬物やアルコールの乱用の防止・治療を強化する
- ◆ 家族計画・性教育、性と生殖に関する健康 (リプロダクティブヘルス) のサービスをすべての人たちが受けることができるようにする
- ◆ 国内、世界で発生する健康リスクの早期警告やリスク軽減・管理のための能力を強化する

世界全体で力を合わせ、すべての人たちが、健康で安心して暮らせるように、取り組む必要があります!



### …国内のインターネットによる情報サイト…

#### HIV 検査・相談マップ

厚生労働科学研究費補助金「HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」版による全国の HIV/エイズ (AIDS)・性感染症の検査相談の窓口情報サイトです。HIV 検査相談施設、電話相談窓口、HIV/エイズや梅毒などの性感染症について調べられます。詳しくはこちら <https://www.hivkensa.com/>

#### エイズ予防情報ネット API ネット

エイズの予防・啓発などに関する様々な情報を幅広く提供することで HIV/エイズの感染防止を図るため、厚生労働省の事業として (公財) エイズ予防財団により運営されています。HIV/エイズの基礎知識から最新の世界・日本の動向、HIV 検査普及週間や世界エイズデーなど関連イベントなどについて調べることができます。詳しくはこちら <https://api-net.jfap.or.jp/>

### …2021 年上半期国内エイズ動向報告…

エイズ動向委員会から 2020 年 12 月 28 日から 2021 年 6 月 27 日までのエイズ動向報告がありました。新規 HIV 感染者報告数は 349 件で 20 代~40 代の報告が多く、新規 AIDS 患者報告数は 150 件で 30 代から 50 代の報告が多くありました。また 10 歳代から 70 歳代までの幅広い新規 HIV 感染者の報告がありました。

参照: 2021 年度エイズ動向委員会報告